

振興部の

知っとこ！神美

知っておいてほしい神美を紹介します。

【「神美」の地名の由来】

兵庫県豊岡市神美は昭和32年までは神美村(かみよしそん)でした。明治22年に出石郡の宮内・坪井・奥小野・口小野・袴狭(はかざ)・田多地・安良・奥野・穴見市場・三宅・森尾・立石・香住・長谷・長倉・下鉢山・上鉢山の17の村が合併してできたのが神美村です。

かつてこの地にあったとされる厳島神社所領の荘園「神部荘(かんべのしょう)」と古くこの辺りの土地の名称「安美郷(あなみのごう)」——この「安美(あなみ)」が後に穴見川の名称の由来ともなっています——この2つの地名が、明治22年の合併当時、「神部」の「神」、「安美」の「美」のようにミックスされて「神美」となったもの——であることが『兵庫県市町村合併史』に記されています。

昭和28年、町村合併促進法の制定によって、出石町と、隣接の神美・小坂村・室埴(むろはに)3村との合併が県の促進法のモデルケースに指定されました。地形上、小野谷は出石町と、穴見谷は豊岡市と密接な関係があったことから、村内の意見は二分されました。

昭和32年には神美村域は豊岡市と出石町の各一部に二分され、奥野・穴見市場・三宅・森尾・立石・香住・長谷・長倉・下鉢山・上鉢山は豊岡市の、宮内・坪井・奥小野・口小野・袴狭・田多地・安良は出石町の大字にそれぞれ継承されました。

平成17年の合併により豊岡市と出石町を含む5町が対等合併し、現在は元々の神美村域は全て豊岡市に含まれています。

現在、「神美村」あるいは「神美」という地名は豊岡市にはありませんが、昭和60年に森尾・立石・香住・長谷の中心側の一部が「神美台(かみよしだい)」という大字名になり、現在に至っています。

神美クイズのヒント



「神美コミュニティ」の
ホームページを公開中！！
kamiyoshi-cc.com



神美コミュニティたちばな

検索

